

給食センター 運営審議会だより

2022(令和4)年 1 月 日

運営審議会会長：黒田宏一

記録担当：三小、四小

印刷担当：

2021(令和3)年度 第3回

国立市立学校給食センター運営審議会

日時 2021年11月25日(木) 午後2時～午後2時45分

場所 国立市立学校第一給食センター2F大会議室

委員 出席16名

事務局 3名(土方所長、青木調理主査、宮本事務主査) 欠席1名

議題 (1) 事業報告について [資料1-1]

学校給食費の収支状況について [資料1-2、1-3]

(2) 視察研修について [資料2]

(3) その他

議事録及び資料は
市のウェブページ
をご覧ください。

議題(1) 事業報告について

▶前回会議以降(9/30～11/25)の主な出来事を報告

[資料1-1] 令和3年度事業報告より

10/13 学校給食食材等の放射性物質の測定検査及び産地について(お知らせ) 全校配布

⇒10/4に外部機関より、蓮根(茨城県産)から1.3Bqの放射性物質が検出されたと報告。

→国が設定する一般食材のセシウム基準値は100Bq/kgだが、

国立市では0.7Bq/kg～1.0Bq/kgを目途として下限値を設定しているため、

国が定める基準値未満の値の計測だが、使用を中止し産地を変更した。

※詳細は[資料1-2]を参照

10/22 多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会献立研究部会

⇒青梅市で開催。国立市からは栄養士1名が参加。

11/12 多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会会長会

⇒稲城市で開催。給食センター所長が出席。

▶牛乳・給食の放射能測定結果

[資料1-2] [資料1-3] 学校給食食材等の放射性物質の測定検査および産地について

・給食センターによる8/30～9/30の給食・牛乳測定の結果、いずれも不検出

(検出限界値未満)

【委員からの主な質問や意見】

Q. 10月22日の献立研究部会では、どのような話し合いが行われたのか。

A. 例年、多摩地区の11団体からなる共同調理場の栄養士が集まり、多摩地区で共通する問題や、特筆すべき献立等を共有している。今回については、参加した栄養士が本日所用で欠席しているため、詳細は後日報告する。

議題（2）視察研修について

▶令和4年1月27日（木）視察予定の稲城市立学校給食共同調理場第一調理場についての説明

[資料2] 稲城市立学校給食共同調理場 第一調理場



(提供：稲城市)

施設概要

- 所在地；東京都稲城市矢野口3648番
- 調理能力：6500食（食物アレルギー対応食100食）
※国立新給食センター…5000食（アレ：80食）でほぼ同等
- 管轄校：小学校6校・中学校6校
- 構造・規模：鉄骨造、地上三階、耐火建築物
- 敷地面積：2,907㎡（令和3年4月1日現在）
- 建築面積：1,710.65㎡ 延べ面積：3,886.73㎡
※国立新給食センター（2階建て）
敷地面積：3,800㎡、建築面積：1,993㎡、延べ：3,556㎡

●稲城市を視察先として選出した理由

- ・国勢調査を基にした産業別就業人口の比率が、財政分析比較表及び歳出比較分析表において、全国の市町村の中で国立市と同じ分類の団体に入っている。
- ・施設の概要が国立新給食センターと似通っている（上記「施設概要」参照）。
- ・給食調理業務は民間委託だが、献立作成や物資選定、発注等の根幹部分を直営で行っている点が国立新学校給食センターの運営方法とほぼ同じである。
- ・施設見学の対応が確立されている。

●当日の流れ

a.m 9:00 ~ a.m 9:20

a.m 9:50 ~ a.m 11:00

a.m 11:30 ~

国立給食センター視察⇒⇒⇒ 稲城市視察 ⇒⇒⇒ 国立市で給食試食 ⇒解散

※稲城市での試食は原則稲城市民のみを対象としているため、今回はなし

【委員からの主な質問や意見】

Q. 視察の際に、カメラでの撮影は許可されるのか。

A. 動画撮影については確認していなかったため、明日（11/26）稲城市で会議があるため稲城市の課長・係長に聞き、正式な案内通知を出す際にお答えできるようにする。

⇒後日、写真及び動画撮影については従業員の顔が映らない範囲で撮影し、

審議会内部での記録用ということであれば問題ない、との回答あり。

Q. こちらからの質問は事前に送ることが可能か。

A. 現場での質疑応答をスムーズにするため、事前に質問を設定して当日先方に直接、あるいは文書にて答えてもらう形式になるかと思う。案内通知と一緒に質問を募集するので、提出してもらえれば。

Q. [資料2]に「主な設備や機能の紹介」があるが、国立市の新給食センターも同じような設備を入れる予定なのか。同じものが導入されると念頭に置きながら視察するのか、全く異なる設備が入る前提で見学すべきなのか。こういったスタンスで視察をするべきなのか。

A. [資料2]には記載されていないが、連続炊飯器（洗米から、炊飯、ほぐし返し、食缶まで連続で行う炊飯器）や連続フライヤー（自動ベルトコンベヤー方式で遠赤外線を使いながら揚げる設備）などは国立市も導入する予定である。また、パススルー冷蔵庫や調理室にある回転釜等を見ると、ほぼ同程度の設備が導入されると思って構わない。

議題（3）その他

▶事務局より

第七小学校の1年生が給食センター見学に来た際、「ばれいしょ」と書かれて積み上げられた段ボールを指して「これは何でしょう」と栄養士が質問した。すると「ばれいしょ」が「ジャガイモ」だと分からず答えられなかった。更に、「実はこの段ボールに200キロのジャガイモが入っていて、今日の給食のカレーのためにすべて使い切った」という話をした所、とても驚かれた。その段ボールを審議会の委員にもぜひ見てほしい。

また、視察で国立市の給食を試食する際、全国的に学校給食週間の期間中であり、小学校給食の試食を考えている。

次回：1月27日(木) 稲城市立学校給食共同調理場第一共同調理場への視察研修